

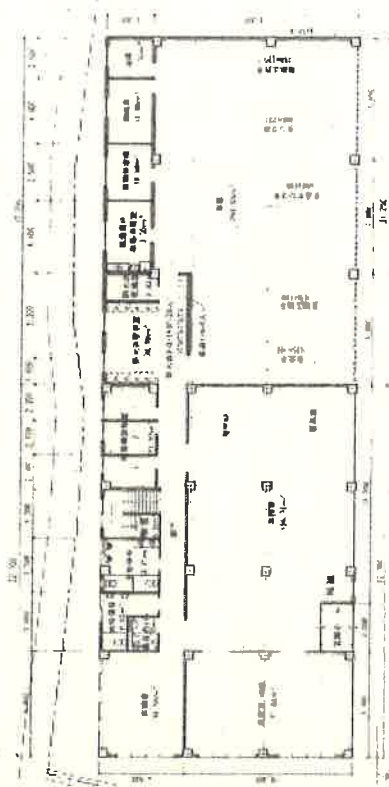
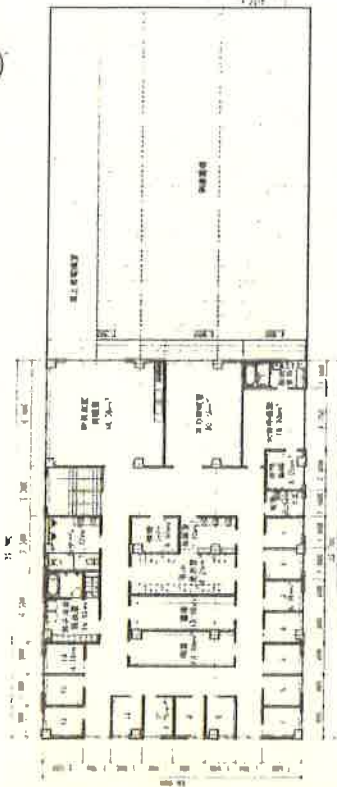
八頭消防署新築工事(案)

資料 1

【新庁舎(案)】※敷地条件により部屋配置は変更します。

・RC造2階建

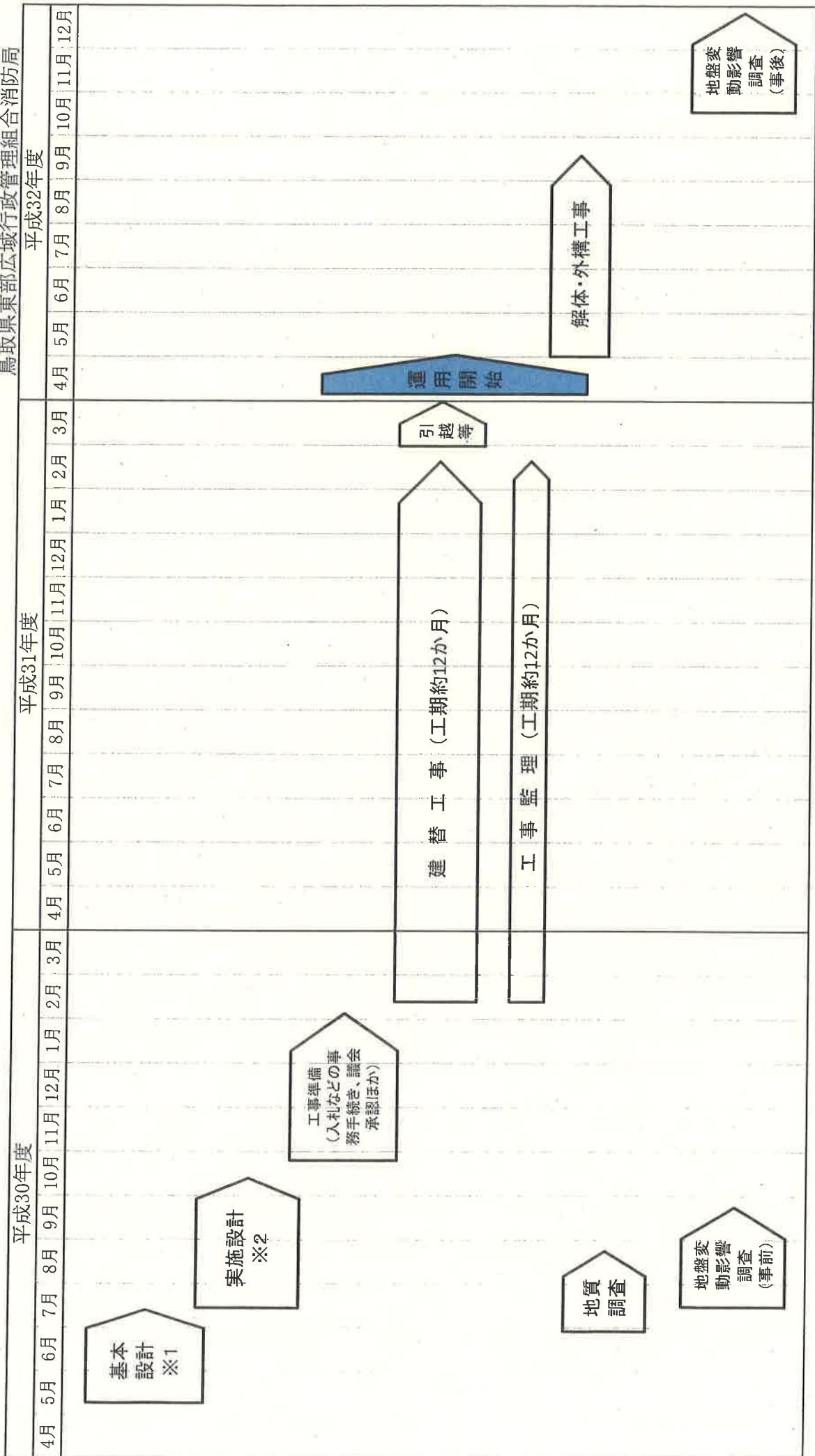
・延床面積 約1,000㎡



1階平面図 2-1/200

八頭消防署建替工事スケジュール(岩美消防署建替スケジュールを参考に作成)

鳥取県東部広域行政管理組合消防局



※1 敷地・立地条件などを調査し、建築基準法など関係法令に照らし合わせて平面図・立面図などを作成します。

※2 意匠設計図、構造設計図、構造計算書、設備設計図、各工事仕様書、工事費積算書など工事に着手できる図面等を作成するとともに、建築関係諸手続き書類を作成します。

【河原町総合支所】

21人（3課1室）

【資料 2】

〒 680-1221 鳥取市河原町渡一木277

電話0858-76-3111(代)

H30.4.1現在

FAX 0858-85-0672

＜総合支所＞

支所長	遠藤 全
-----	------

76-3111

副支所長	九鬼 栄一
------	-------

76-3111

地域振興課	
-------	--

5人

課長(兼)	九鬼 栄一
-------	-------

76-3111

課 員	
-----	--

課長補佐	平尾真由美
------	-------

主幹 前嶋 宏人

主任 加藤 香織

〃（再） 長谷 政信

76-3111

市民福祉課	
-------	--

8人

課長	西山 典子
----	-------

76-3113

課 員	
-----	--

主幹 近藤 直美

主任 池本 奈緒

〃 田中 幸子

保健師 藤原 典子

主任(再) 山根 輝子

〃 西村 真悟

主事(任短) 吉田美奈子

76-3113

産業建設課	
-------	--

6人

課長	前田 武志
----	-------

76-3115

課 員	
-----	--

主任 小川 孝

〃 山下 晶

〃 西谷 慎也

〃 西田こずえ

〃 徳田 容子

76-3115

＜教育委員会＞

河原町分室 (河原歴史民俗資料館)	
----------------------	--

1(2)人

分室長(兼)	九鬼 栄一
--------	-------

76-3122

室 員	
-----	--

主任 漆原 朝子

＜経済観光部＞

企業立地・支援課

河原拠点地域振興センター	
--------------	--

1(2)人

所長(兼参事)	坂本 茂
---------	------

76-3127

所 員	
-----	--

参与 浅田 義昌

＜都市整備部＞

鳥取南地域工事事務所	
------------	--

7人

所長	山根 陽一
----	-------

76-3126

所 員	
-----	--

所長補佐 中島 弘隆

主査 西川 寛章

主幹 米村 典之

主任 菰 義紀

〃 小川小百合

〃 田中 聡大

＜水道局＞

南地域水道事務所	
----------	--

8(9)人

所長	西平 修一
----	-------

76-3118

営業所員	
------	--

所長補佐 大島 徳明

主幹 霜田 憲孝

〃 石原 崇央

〃 橋村 裕司

主任 前田 和彦

〃 坂川 和哉

技師 南岡 克彦

主任(併) 田中 幸子

＜可燃物処理施設建設河原事務所＞

1人

東部広域行政管理組合	
------------	--

調整官 東田 義博

85-3828

【資料 3】

平成30年度主な地域別事業一覧表

河原地域

(単位：千円)

課名	事業名	予算計上額	説明
財産経営課	国土調査事業	16,722	調査地区 釜口
危機管理課	避難案内板設置費	324	河原町総合運動公園、西郷小学校グラウンド避難場所表示板の設置
地域振興課	人材誘致・定住促進対策事業費	860	お試し定住体験事業費、空き家運営経費(西郷)
地域振興課	買い物支援事業	2,220	移動販売車による買い物支援・見守り活動
協働推進課	町内集会所建設等補助金	66	河原
協働推進課	地区公民館改修事業費	2,060	八上地区
こども家庭課	河原町ふれあい広場管理費	155	河原町ふれあい広場の管理費
観光戦略課	河原城管理事業費	20,113	河原城指定管理料及びイベント実施費
農業振興課	みんなでやらいや農業支援事業	5,748	農業用機械整備費補助金
農業振興課	野生鳥獣被害防止事業費	2,035	進入防止柵設置に対する支援
林務水産課	三滝管理棟維持管理費	1,050	三滝林間施設の指定管理料、井戸等修繕業務に係る経費
林務水産課	林道維持管理事業費	3,444	林道の舗装、路肩修繕、除草等維持経費
林務水産課	林道改良事業費	33,500	林道中山線の改良工事に係る経費
農村整備課	山上・水根地区地域ため池総合整備事業費	7,680	危険ため池の堤体の改修のための事業費(県営事業)(河原町山上・水根地区)(平成23年度～30年度)
農村整備課	中山間地域等直接支払交付金	16,094	中山間地域の耕作放棄を防止し、農業環境の保全を行う活動に対する支援
農村整備課	多面的機能支払事業費	15,971	農地、水路等の日常管理と農村環境の向上のための共同活動及び施設長寿命化に対する支援
交通政策課	生活交通確保対策事業費	15,061	バス代替タクシー運賃補助
都市環境課	治水対策事業費	718	河原・片山地区ポンプ点検業務
都市環境課	河川維持管理費	422	河原地区水路清掃業務等
都市環境課	公園管理費	6,633	河原町中央公園、桜づつみ公園等管理費

平成30年度主な地域別事業一覧表

河原地域

(単位：千円)

課 名	事 業 名	予算計上額	説 明
道路課	道路管理費	10,402	道路施設管理緊急補修他
道路課	一般道補修費	16,587	国英地区振興関連工事他
道路課	除雪費	554	除雪車車検
道路課	社会資本整備総合交付金事業費	10,421	向羅線整備
道路課	防災・安全交付金事業費	3,215	橋梁修繕・点検
道路課	交通安全施設事業工事費	1,300	カーブミラー、ガードレール等の交通安全施設修繕
建築住宅課	下曳田団地耐震改修工事費	46,685	下曳田団地耐震改修工事
河原町地域振興課	河原地域活性化推進事業費	180	安心安全まちづくり事業(あいさつ運動、青パト事業等)に要する経費
河原町地域振興課	総合支所統括費	148	支所長経費(旅費等)
河原町地域振興課	河原城イベント企画事業費	1,420	河原城イベント企画事業等に要する経費
河原町地域振興課	フライトフェスティバル事業費	350	「霊石山フライトフェスティバル」開催補助
河原町地域振興課	いなば西郷工芸の郷づくり支援事業費	1,200	(一社)西郷工芸の郷あまんじゃくが行なう「いなば西郷工芸の郷づくり」事業への補助
河原町地域振興課	文化振興費	295	「山陰新協河原展」、「河原町民合唱団定期演奏会」開催補助
河原町地域振興課	花いっぱい推進事業	148	生涯学習としての集落での花づくり活動に対して花苗・プランター等を助成
河原町地域振興課	河原町文化祭事業費	491	河原町文化祭実行委員会への委託料
河原町地域振興課	町民スポーツの日開催費	152	レクリエーションスポーツ大会の開催経費
河原町産業建設課	あゆ祭補助金	4,926	「あゆ祭」開催補助
	合 計	249,350	

平成30年度 地域振興会議開催スケジュール

地域振興局地域振興課

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
上旬												
中旬												
下旬												
	地域振興会議(単独またはブロック開催)	地域振興会議(単独またはブロック開催)		地域振興会議(単独またはブロック開催)	地域振興会議(単独またはブロック開催)		地域振興会議(単独またはブロック開催)	地域振興会議(単独またはブロック開催)		地域振興会議(単独またはブロック開催)	地域振興会議(単独またはブロック開催)	
					会長会						会長会	

河原「鳥取市新地域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標 【基本計画・施策】	推進期間			短期(～29年度)における総括		30年度				担当課		
			短期	中期	長期	成果(何をどれだけ)	次年度以降への課題・方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度		事業の 方向性	
			～29年度	～31年度	～35年度									
①協働による防犯対策の推進	1. 警察・地域住民(団体)と協働で行う、防犯パトロールの継続と充実 2. 地域住民(団体・学校)と連携したあいさつ運動の啓発・推進「安全で安心なまちづくり」	小中学生の安全・安心な暮らしの確保 【防犯・交通安全対策の充実】	○効果的実施の検討	○効果的に継続実施	○継続実施し、小中学生の安全な暮らしを構築	○青少年育成協議会及び園長・校長会などで小中学生の現状についての情報を共有した。 ○民生児童委員と支所職員による下校時における青色防犯パトロールを実施した。(月、水、金曜日)	○事業を継続して実施する。 ○各地区まちづくり協議会にパトロール実施を呼びかける。	○青少年育成協議会及び園長・校長会などで小中学生の現状等について情報交換する。 ○民生児童委員と支所職員による下校時における青色防犯パトロールを実施する。(月、水、金曜日) ○安心安全啓発看板を設置する。	105					河原町総合支所
		小中高校生の健全育成及び地域の安全確保(町内犯罪0を目指す) 【防犯・交通安全対策の充実】	○効果的実施の検討	○効果的に継続実施	○継続実施し、安全で安心に暮らせるまち「河原町」の構築	○青少年育成協議会及び園長・校長会などで少年犯罪や発生状況、傾向についての情報を共有した。 ○PTA連絡協議会主催の家庭教育啓発講演会を実施した。 ○夏休み中の夜間防犯パトロールを実施した。	○事業を継続して実施する。 ○専門機関との連携について検討する。	○青少年育成協議会及び園長・校長会などで少年犯罪や発生状況、傾向についての情報交換する。 ○PTA連絡協議会主催の家庭教育啓発講演会を実施する。 ○夏休み中の夜間防犯パトロールを実施する。						河原町総合支所
		①あいさつ運動の啓発を進めて道徳の高揚を図る ②地域に暮らす全ての世代がお互いに声を掛け合い、助け合う「風土づくり」と「防犯の意識づくり」を行い、発展させることにより、地域と行政の協働による安全で安心なまちづくりを図る 【防犯・交通安全対策の充実】	○応募数増に向けた取り組み検討(周知徹底ほか)	○応募者増に向けた取り組み実施	○応募者の増 ○「風土づくり」と「防犯意識の向上」を地域と行政による協働の取り組みで図る	○新たに河原幼稚園及び各小中学校の保護者へ呼びかけた結果、応募者数が増えた。 ○優秀な作品6点を看板にして、各園、小、中学校、支所に掲示するとともに最優秀を受賞した生徒・児童に記念品と表彰状を送り機運を高めた。 ○智頭警察署管内防犯協議会での情報共有、連携等について意見交換を行った。 ○交通安全の期間中に併せ、あいさつ運動を市民と行政が協働で実施した。	○事業を継続して実施する。	○あいさつ標語の募集し、看板を作製、設置する。 ○智頭警察署管内防犯協議会での情報共有、連携等について意見交換を行う。 ○交通安全の期間中に併せ、あいさつ運動を各学校、PTAなど市民と行政が協働で実施する。	65					河原町総合支所

河原「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標 【基本計画・施策】	推進期間			短期(～29年度)における総括		30年度					担当課	
			短期	中期	長期	成果(何をどれだけ)	次年度以降への課題・方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性		
			～29年度	～31年度	～35年度									
②農業の振興と有害鳥獣対策の推進	1. 専業農家、農産物加工グループ、高齢化農家の支援と所得向上 2. 有害鳥獣被害防止支援と獣肉のジビエ活用推進	高齢者、兼業農家の農産物の販売額増及び販売商品の生産増【これからの河原地域の農業振興の在り方等】について当事者の生きた意見等を把握し、今後の施策に反映する。(H27年度変更) 【農林水産業の振興】	○直売所等への出荷量・出荷品目の増 ○「(仮)かわはらふるさと便」の立上げ ○専業農家、認定農業者、新規就農者、農業関係団体等による『意見交換会』を実施する(H27年度変更)	○直売所等への出荷量・出荷品目の増 ○「(仮)かわはらふるさと便」の実施 ○専業農家に対して、国県市等の支援策を関係機関と連携して情報提供を行う。	○直売所等への出荷量・出荷品目の増 ○「(仮)かわはらふるさと便」の増 ○専業農家に対して、国県市等の支援策を関係機関と連携して情報提供を行う。	○【これからの河原地域の農業振興の在り方等】について当事者の生きた意見等を把握するため河原地域の農業振興に係る意見交換会を実施し、新規就農者へのアドバイスなど意見交換や情報共有を行った。	○事業を継続して実施する。	○【これからの河原地域の農業振興の在り方等】を検討するため河原地域の農業振興に係る意見交換会を継続実施する。						河原町総合支所
		専業農家の生産コストの縮減とブランド販売を目的とした販路の拡大 【農林水産業の振興】	○個人、農事組合等に対して『法人化』への積極的なPR・促進計画策定 ○JA、県普及所等と連携して法人化出前説明会の実施	○集落営農等法人設立 ○現存農業法人等の規模拡大促進	○集落営農等法人設立促進 ○現存農業法人等の規模拡大	○『法人化』へのPRとして、各集落の実行組合長に対して、『人・農地プラン、法人化』の事業を紹介するチラシを配布したが促進計画は策定できなかった。 ○法人化出前説明会を14集落で行った。	○法人化された団体の組織化後に対する情報共有ができていないため課題問題の把握不足である。 ○新規団体や法人化を検討している団体との情報交換が不足している。	○平成29年10月に設立された「一般社団法人八上」が計画している、農活促進事業、集荷場運営事業、地域活性化コンサル事業等に対する協力・支援を検討する。 ○法人化組織と民間事業者とのビジネスマッチングを支援する。						河原町総合支所
		①農産物加工グループ(地元任意団体)の商品販売額(販売量)の向上 ②河原町特産品販売の拡大 【農林水産業の振興】	○農産物加工グループの洗い出しとカルテ作成 ○現存する加工品の診断及び改良 ○『とっとり旨味工房かわはら』の活動支援と活性化	○新たな農産物加工品の創出・テスト販売 ○既存加工品のグレートアップと市場化・消費者テストの実施	○農産物加工品等の販売増	○農産物加工グループ等の商品抽出と商品診断を実施した。 ○『とっとり旨味工房かわはら』の活動を支援した。 ○農産物加工グループの小河内マドンナ隊が新商品の開発、流通、販路拡大を図り、『満月かきもち』『やわらか姫もち』を商品化し、各道の駅、東京のアンテナショップほか様々な販売戦略に取組んだ。 ○鳥取市農産物販路拡大支援事業により東京、大阪、神戸などでの販売活動を行う経費の助成を行った。	○中央ファーム、西郷地区特産物をつくる会、河原城風土資産研究会、マドンナ隊、アトラス等農産物加工グループとの情報交換が不足しており、現状が把握できていない。	○加工グループの現状把握に努め、研修会、県外県内でのPR活動に対する支援等を行い、販路の拡大や安定した運営につなげる。						農業振興課 河原町総合支所
		有害鳥獣被害防止対策の推進と獣肉解体施設の稼働率向上及び解体獣肉の販売量の増 【農林水産業の振興】	○侵入防止柵等の安価で効果的な設置方法の検討と実証 ○新規狩猟捕獲者創出と狩猟捕獲従事者のスキル向上 ○解体施設設備の改良・増設の助言並びに支援 ○施設管理者と利用者のマニュアル充実	○侵入防止柵等の安価で効果的な設置方法創出 ○狩猟捕獲従事者組織の育成 ○「いなばのジビエ推進協議会」と連携して、市内旅館・料亭等への獣肉の販路の拡大	○侵入防止柵等の効果的な設置方法(モデル)確立 ○狩猟捕獲従事者に対する新たな支援強化 ○ジビエ料理の定着と普及推進のため、モデル的な取り組み実施	○被害対策として、毎年各集落に呼び掛け、延べ51団体に電気柵等の設置事業に対して助成した。 ○鳥取市鳥獣害対策協議会に「新規狩猟捕獲者の創出対策等」について要請した。 ○北村解体施設については、地元・ししぼたんの会と施設の稼働率向上等について意見交換を実施し、施設の一部改良(井戸新設等)を実施した。	○事業を継続して実施する。 ○新規狩猟捕獲者創出と狩猟従事者のスキル向上を図る。 ○北村解体施設の施設管理者と利用者のマニュアルを充実する。	○各集落に呼び掛け電気柵等の設置事業に対して助成する。 ○新規狩猟捕獲者創出と狩猟捕獲従事者のスキル向上を図るため狩猟捕獲従事者組織を育成する。 ○北村解体施設の施設管理者と利用者のマニュアルを再構築する。	2,035					農業振興課 河原町総合支所

河原「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標 【基本計画・施策】	推進期間			短期(～29年度)における総括		30年度				担当課	
			短期	中期	長期	成果(何をどれだけ)	次年度以降への課題・方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度		事業の 方向性
			～29年度	～31年度	～35年度								
③企業誘致の推進と移住定住の促進(若者の流入・定住促進)	工業団地の確実な整備と企業誘致また空き家活用によるUJターン者の増のほか宅地造成分譲による若者の定住促進	河原インター山手工業団地への企業誘致及び既設工業団地の拡張整備による企業誘致 【工業の振興】	○河原インター山手工業団地の整備完了と企業への分譲 ○既存工業団地拡張整備の着手と完成地からの分譲開始	○河原インター山手工業団地の企業への分譲促進 ○既存工業団地の拡張整備推進と完成地からの分譲開始	○河原インター山手工業団地分譲完了 ○既存工業団地拡張整備分譲完了	○河原インター山手工業団地 【整備状況】 ・平成30年3月完成予定。 【分譲状況】 ・分譲面積約6.1haの内、約1.9ha(約32%)は分譲済、約1.2haは分譲予約済。 ○布袋工業団地 【整備状況】 ・1工区は平成27年度完成。2工区は平成28年9月完成。3工区は着手済、完成は未定。 【分譲状況】 ・分譲面積約14haの内約4haを分譲済	○それぞれの工業団地への分譲を進める。	○河原インター山手工業団地及び布袋工業団地の企業への分譲を促進する。					企業立地・支援課 河原町総合支所
					○河原町神馬の空き家を借り上げ、(一社)西郷工芸の郷あまんじゃくに移住定住空き家運営業務を委託しお試し住宅を開設、西郷地区へのUJターン者の受け入れ体制を強化した。	○事業を継続して実施する。	○(一社)西郷工芸の郷あまんじゃくが行う、神馬の移住定住空き家運営業務(西郷地区へのUJターン者の受け入れ)を支援する。	860				地域振興局・地域振興課 河原町総合支所	
		河原町へのUJターン者の増(町外からの移住者) 【移住・定住の促進】 【ふるさと・いなか回帰の促進】	○河原町へのUJターン者の増に向けた検討 ○空き家情報等収集	○河原町へのUJターン者の増への取り組み強化	○河原町へのUJターン者増	○H29.4月いなか西郷工芸の郷の郷開きを行い、福岡県から河原町湯谷へ新進気鋭の若手陶芸家が夫婦で移住され、日夜研鑽に励んでいる。 H28年度:陶芸窯、作業場への整備に対する支援を行った。 H29年度:研修に要する経費の支援を行った。 ○いなか西郷工芸の郷を内外にアピールし、機運を盛り上げるため西郷地区工芸祭りが実施された。 ○(一社)西郷工芸の郷あまんじゃくが、西郷地区に若手工芸家等を誘致し、活動の拠点とするため、北村にシェアハウス、本鹿にゲストハウスを設置への支援を行った。	○有望な若手工芸作家の誘致及び移住後の研修、生活基盤確保に向けて支援する。	○有望な若手工芸作家の誘致及び移住後の研修、生活基盤確保を支援する。 ○(一社)西郷工芸の郷あまんじゃくに委託している北村シェアハウス、本鹿のゲストハウスの運営等を支援する。	1,200				政策企画課 地域振興局・地域振興課 河原町総合支所
		民間企業等参入による新たな宅地造成と分譲による定住促進 【工業の振興】	○民間事業者への呼びかけと支援策の検討及び法手続き等の開始	○宅地造成の開始と完成地からの分譲開始	○宅地造成完了と分譲完了	○民間事業者への呼びかけと支援策を検討した。(検討概要) ○申請事務手続きの簡素化、受付ワンストップサービスの新設等	○民間企業等参入による新たな宅地造成と分譲による定住促進を進めるための方策を検討する。	○民間による住宅団地、分譲地の整備を支援する。					河原町総合支所

河原「鳥取市新地域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標 【基本計画・施策】	推進期間			短期(～29年度)における総括		30年度				担当課	
			短期	中期	長期	成果(何をどれだけ)	次年度以降への課題・方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度		事業の 方向性
			～29年度	～31年度	～35年度								
④子育て・教育環境の充実	1. 学校施設の耐震化、生涯学習施設(中央公民館、地区公民館)の耐震化	各種教育・生涯学習・体育施設の耐震改修と整備及び中央公民館・体育施設等の効率的且つ効果的な管理体制を図る 【地域防災力の充実】	○西郷小学校、河原第一小学校耐震改修 ○八上地区公民館耐震改修、西郷地区公民館整備 ○町内体育施設の計画的整備 ○中央公民館のあり方検討	○体育施設の計画的整備及び管理方法の見直しと一部実施 ○中央公民館(基幹公民館)河原町コミュニティセンターのあり方について決定	○中央公民館河原町コミュニティセンター・体育施設等の計画的整備の完了と効率的且つ効果的な管理体制への移行	○西郷小学校、河原第一小学校耐震改修整備が完了した。 ○八上地区公民館耐震改修工事が完了した。 ○西郷地区公民館新築整備が完了した。 ○平成30年度からの総合体育館、勤労者体育館の指定管理移行に向けた諸手続きを実施した。 ○河原町コミュニティセンターの管理体制及び設備更新と耐震改修整備に向けての協議を進めた。 ○(仮称)山手総合運動場(野球場・グラウンドゴルフ場)の工事に着手した。(平成30年5月頃完成予定)	○河原町コミュニティセンターの管理体制及び設備更新と耐震改修整備に向けての協議を進める。	○河原町総合体育館及び勤労者体育館を指定管理とする。 ○河原町プールの指定管理移行に向けた検討を行う。 ○河原町コミュニティセンターの管理体制及び設備更新と耐震改修整備に向けての協議を行う。 ○(仮称)山手総合運動場(野球場・グラウンドゴルフ場)を整備する。					生涯学習・スポーツ課 河原町総合支所
	2. 体育施設の整備(プール、体育館、運動場等)		「河原町未来を語る会」への参加者数の増と小中学生による実証 【教育の充実】 【教育の充実・郷土愛の醸成】	○園児・保護者、PTAを含めた「河原町未来を語る会」の実施と小中学生の提言等を各まちづくり協議会と共有し、各地域づくりの推進に向け検討する	○小中学生の提言に対する。地域住民・行政・教育等での実施検討と実証(河原町地域の宝マップ作成等)	○小中学生による地域の宝を活用した地域振興の実施(実証)	○児童生徒・保護者、PTA、市民を含めた「河原町未来を語る会」が毎年実施され、各小中学校の代表が具体的な提案・プレゼン、地域の方とのディスカッションを行った。	○小中学生の提言を各地域まちづくり協議会と共有し、実践に向けて検討し実証する。	○児童生徒・保護者、PTA、市民を含めた「河原町未来を語る会」を実施する。 ○小中学生の提言に対する地域住民・行政・教育等での実施検討と実証する。				河原町総合支所
	3. 地域住民と小・中学校生徒及びPTAと連携した「河原町未来を語る会」の継続		河原町文化祭への出展作品数・来場者数の増 【生涯学習の推進】	○出展作品数・入場者数増への取り組み検討・実施	○出展作品数・入場者数増に向けた取り組み強化	○出展作品数・入場者数の増	○前年度の実績、アンケート、反省会を踏まえ出展作品数・入場者数の増を実行委員会で検討した結果、年々、出展作品数、来場者が微増した。 ○平成29年度は第40回を記念して講演会を実施した。	○文化祭を継続して実施する。 ○出展作品数・入場者数増に向けた新たな試みを検討する。	○文化祭を継続実施するとともに、出展作品数、来場者数の増に向けて検討する	491			河原町総合支所
4. 河原町文化祭などの文化活動の推進													

河原「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標 【基本計画・施策】	推進期間			短期(～29年度)における総括		30年度				担当課	
			短期	中期	長期	成果(何をどれだけ)	次年度以降への課題・方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度		事業の 方向性
			～29年度	～31年度	～35年度								
⑤観光振興に伴う交流人口の増	1. 河原城・湯谷荘・三滝荘への来訪者の増を目指す。 2. ジオパークエリアにある霊石山また八上姫を祀る売沼神社の知名度アップとこれらを活用した地域活性化の促進 3. 年間約150万人が訪れる「道の駅 清流茶屋 かわはら」を活用し、河原町の情報発信と新たな特産品等の創出販売促進	①河原城への入館者増 ②湯谷荘の利用者増 ③三滝林間施設への入込客増 【デジタルととりの展開】【滞在型観光の推進】	○各施設の利用実態調査実施・分析 ○魅力創出とPRの推進(SNS等多様な情報発信による知名度アップ) ○道の駅かわはらネットワーク協議会の再構築	○旅行者への売り込み ○各施設の年間利用者数の増に向けた情報発信強化	○各施設の年間利用者数の増	○各施設の利用実態調査実施・分析中 ○三滝林間施設はH31年度から新たな管理者を募集することとしており、地元を始め関係機関と検討を開始した。 ○河原町独自の観光パンフレット(3施設周遊案内特集版)を作成	○各施設の利用実態調査実施し分析する。 ○道の駅かわはらネットワーク協議会の再構築を図る。	○各施設の利用実態調査・分析を行い、入館者増に向けた効率的な情報発信の方法等について検討する。 ○各施設が行う事業等を支援する。 ○三滝林間施設のH31年度からの管理者募集について地元を始め関係機関と検討する。	1,420				林務水産課 河原町総合支所
		①グリーンツーリズムの推進(民泊受入者の増) ②むらとまち交流の増 【デジタルととりの展開】【滞在型観光の推進】	○新たな民泊及びむらとまち交流等の掘り起しと既存ツーリズムの再生	○民泊開設・交流の増 ○新たな体験メニューの創出	○団体受入可能なグリーンツーリズム(民泊等)組織の確立 ○多様な体験メニュー(ツーリズム)の運用 ○むらとまち交流の増	○国英地区と岩倉地区のむらとまち交流事業が継続して実施された。 ○八上地区と丹波篠山市、姫路市との交流が行われた。 ○西郷地区と修立地区との交流が行われた。また、新たな民泊事業に向けて検討を開始された。	○むらとまち交流事業を継続する。 ○西郷むらづくり協議会やどかり部による民泊事業の取り組みを支援する。	○各地区まちづくり協議会のむらとまち交流事業を支援する。 ○西郷地区むらづくり協議会やどかり部による民泊事業を支援する。					地域振興局地域振興課 河原町総合支所
		①河原町の各種観光情報発信の充実強化(道の駅活用) ②新たな特産品の創出と販売 【デジタルととりの展開】【滞在型観光の推進】	○地域おこし協力隊設置による地域の宝の掘り起しと活用、また新たな特産品の創出 ○道の駅を活用した新たな情報発信検討	○多様なSNSを活用した連携情報発信の構築 ○新たな特産品の販売	○道の駅を活用した「河原町観光情報発信」の充実 ○新たな特産品等の販売増	○地域おこし協力隊(エコツーリズム担当)による地域の宝の掘り起しと活用、また新たな特産品の創出を行った。	○かわはら道の駅を活用した河原町の各種観光情報の発信を充実強化する。	○かわはら道の駅活用した河原町の各種観光情報発信を充実強化する。					河原町総合支所
		あゆ祭りの情報発信強化等により因幡の夏イベントとして定着(2万人以上の来場者維持) 【デジタルととりの展開】【滞在型観光の推進】	○あゆ祭りの情報発信強化(知名度アップ等)に向けての検討	○あゆ祭り情報の多様な発信	○ととりの因幡の夏イベントとして定着	○あゆ祭り実行委員会を中心として開催しているあゆ祭りは、8月の第1土曜日開催の夏の風物詩として定着してきた。また、会場のレイアウトを変更し、来場者がより一層祭を楽しめるようにしたことなどにより来場者が過去最高の25,000人となった。	○平成30年度は第40回の記念大会であり、例年以上のより多彩で充実した催しを実施する。 ○ポスターチラシに留まらない多様な情報発信を検討する。	○第40回の記念大会としてのあゆ祭りを例年以上のより多彩で充実したものとする。	4,926				河原町総合支所
		ジオパークエリア霊石山の観光資源の再発掘、整備、活用をして魅力を向上し、来訪者の増を目指す 【デジタルととりの展開】【滞在型観光の推進】	○国英地区と協同して霊石山(関係含む)のデータ収集と利活用の検討 ○山頂へのアクセス道整備	○埋もれている地域資源の再整備と利活用を図る ○ジオガイドの養成 ○ウォーキングマップ作成	○観光資源等の整備完了 ○霊石山への来訪者増	○「国英地域の宝を発見し活かす」をテーマとしてとっとりふるさと元氣塾(約30名が入塾)を国英地区公民館で開催するなど、霊石山の魅力や活用の仕方などを国英地区と協働で検討した。 ○霊石山山頂に山陰海岸ジオサイト案内看板を設置した。 ○山頂へのアクセス道については応急的な整備を実施した。 ○国英、河原、八上地区のまちづくり協議会により伊勢ヶ鳴の整備を行った。 ○かわはら道の駅や河原城の主催でトレッキングなど霊石山を活用した事業を行った。	○国英地区との連携により霊石山の活用や魅力の発信などを実行できるようなプランをつくる。 ○各地区まちづくり協議会による霊石山の整備を継続する。 ○山頂へのアクセス道を整備する。 ○ジオガイドを養成する。 ○ウォーキングマップを作成する。	○国英地区との連携により霊石山の活用や魅力の発信について検討する。 ○各地区まちづくり協議会による霊石山の整備の継続して実施する。 ○山頂へのアクセス道を整備する。 ○ジオガイドを養成する。 ○ウォーキングマップを作成する。					林務水産課 河原町総合支所

